

資料編

1. 江別市子どもの読書活動推進計画策定経過	23
2. 「江別の学校図書館を考える会」との懇談会での意見等	25
3. 「ボランティア団体」との懇談会での意見等	26
4. 「保育士、幼稚園教諭」との懇談会での意見等	27
5. 「小・中学校図書館担当者」との懇談会での意見等	28
6. 各懇談会の様子	29
7. 江別市子どもの読書活動推進計画案公表に対する市民意見	31
8. 子どもの読書活動の推進に関する法律	32
9. 子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画（概要）	34
10. 文字・活字文化振興法	35
11. 学校図書館法	38

1 . 江別市子どもの読書活動推進計画策定経過

年 月	策 定 経 過
平成13年12月	* 「子どもの読書活動の推進に関する法律」公布、施行
平成14年 8月	* 「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」閣議決定、公表
平成15年11月	* 「北海道子どもの読書活動推進計画」策定、公表
平成17年 7月	* 「文字・活字文化振興法」公布、施行
平成18年 4月	* 「江別市子どもの読書活動推進委員会」設置 * 平成18年第4回定例教育委員会 計画策定の趣旨説明等
5月	* 第1回江別市子どもの読書活動推進委員会 計画策定の趣旨説明等 * 江別の学校図書館を考える会との懇談会 * ボランティア団体との懇談会
6月	* 保育士、幼稚園教諭との懇談会
7月	* 第2回江別市子どもの読書活動推進委員会 江別の学校図書館を考える会、ボランティア団体、保育士、幼稚園教諭との懇談会の開催報告。計画骨子案について検討
8月	* 小・中学校図書館担当者との懇談会 * 平成18年第8回定例教育委員会 江別の学校図書館を考える会、ボランティア団体、保育士、幼稚園教諭、小・中学校図書館担当者との懇談会の開催報告。計画骨子案について報告 * 市P連単P会長会議 計画骨子案について報告
9月	* 第3回江別市子どもの読書活動推進委員会 小・中学校図書館担当者との懇談会の開催報告。計画案について検討

年	月	策定経過
	11月	<ul style="list-style-type: none"> *第4回江別市子どもの読書活動推進委員会 計画案策定 *平成18年第11回定例教育委員会 計画案について協議
	12月	<ul style="list-style-type: none"> *総務文教常任委員会正副委員長に計画策定の経過について 説明、各委員に計画案概要版配布 *社会教育委員の会議 計画案について報告
平成19年	1月	<ul style="list-style-type: none"> *計画案市民公表（1/5～1/23） 計画案に関する市民意見募集（1/23期限） *小・中学校図書館担当者との懇談会 計画案について説明
	2月	<ul style="list-style-type: none"> *平成19年第2回定例教育委員会 計画案について審議 *第5回江別市子どもの読書活動推進委員会 計画書について報告
	3月	<ul style="list-style-type: none"> *総務文教常任委員会 計画書について報告 *社会教育委員の会議 計画書について報告

2. 江別市子どもの読書活動推進計画策定に係る 「江別の学校図書館を考える会」との懇談会での意見等

- (1)実施期日 平成18年5月20日(土)
 (2)実施会場 江別市情報図書館デモ展示室
 (3)参加人数 江別の学校図書館を考える会代表ほか計5人
 (4)テ マ 「学校図書館のあり方」について

[懇談会での意見等から抜粋]

内	容
	<p><u>家庭・地域において</u></p> <p>●子どもの生活圏域に、子どもが自由な読書を楽しめるよう、プライバシーを重視し、本に親しめる環境整備が必要である。 ●図書館に、児童奉仕係を設置する。 ●ブックスタートや啓発講座は読書への導入であり、その後の継続的な読書を支える図書館あつての事業であることに触れ、図書館の設置や資料費の充実が必要である。 ●子どもの生活圏域に読書に親しめる場がない場合は、図書館が移動図書館車の運行や団体貸出などのアウトリーチ・サービス（移動してサービスを提供する）を行う。 ●児童福祉施設と学校、公共図書館、幼稚園など、子どもが利用する施設が連携し協力する。 ●子どもたち自身が本を判断する力を養うことであることから、「優良図書資料」という表現は、短絡的な有害図書規制などの読書の自由の侵害に結び付く恐れがあり避ける。</p> <p><u>学校等において</u></p> <p>●読書は個人的な営みであり、「全校一斉の読書活動や読み聞かせ」などを強制するような表現は避ける。（読む本を強制しない。全員で読書はするが、読む冊数とか読書の内容にふれることはしない。） ●学校に専任で専門・正規の司書を配置すると共に、公共図書館と学校間のネットワーク化を図り、物流を含めた相互貸借がスムーズに行えるようにする。 ●特に、楽しみとしての読書だけではなく、進路や学習、友人関係など悩みも多く不安定な年代である中学生への読書支援を行うには、専門性を持つ専任の司書でなければ困難である。 ●小・中学校等の図書費の予算化については、交付税措置の趣旨を反映させ、蔵書の充実を図る。 ●小規模校へも司書教諭を配置する。 ●公立図書館が学校図書館支援を行えるよう、担当職員配置や資料費措置の必要性を盛り込む。 ●教育委員会に学校図書館活動推進委員会（教育行政担当者、校長、司書教諭、学校図書館担当者、ボランティアなど）を設置し、学校図書館運営や活用についての情報交換、研修を行う。</p> <p><u>公立図書館において</u></p> <p>●未設置地区の解消や有資格司書の配置など図書館整備の具体的な目標を定めた、図書館振興政策の策定が必要である。 ●図書館が、学校図書館支援やネットワークへの支援を行えるよう、資料費の増額や学校図書館支援担当職員の配置をする。 ●中・高校生の読書推進のために、ヤングアダルトコーナーを設置し、ヤングアダルトサービスの充実を図る。 ●障がいをもつ子どもに対するサービスや、的確な児童サービスを行うために、専門性を持つ司書の配置が必要である。 ●市民の声を広く反映させるために、図書館協議会を設置する。</p> <p><u>効果的な計画の推進に向けて</u></p> <p>●地域の読書団体やボランティアグループ、子育てグループなど、地域住民の主体的な読書推進活動を支援する。 ●江別市は、子どもの読書活動の推進のための施策に要する費用について、必要な財政上の措置を講ずる。</p>

3. 江別市子どもの読書活動推進計画策定に係る 「ボランティア団体」との懇談会での意見等

- (1)実施期日 平成18年5月24日(水)
 (2)実施会場 江別市情報図書館デモ展示室
 (3)参加人数 「江別子ども劇場 おさそい会」「そらいろのたね」、おはなしなあに、風の子文庫、オリオンの帯、わかば町文庫」5団体・計8人
 (4)テーマ 「絵本の読み聞かせ活動等」について

[懇談会での意見等から抜粋]

内	容
●	児童図書（絵本、紙芝居）を教育材料として考えてはいけない。
●	幼児期に家庭の中から読み聞かせを始めなければならないと思う。
●	小学生になってから進めたのでは遅いし、根付かない。
●	4か月健診は、受診率が非常に高い（保健センター）。4か月健診での読み聞かせは、赤ちゃんが生まれて親が感激している時で、読み聞かせの良い機会である。（10か月健診は、健診の委託を受けている病医院で受診することとなる。）
●	男性の読み手は、女性とまた違った良さが発揮される。
●	子どもが自分の足で、自由に行ける場所が欲しい。小さい時に、住んでいる近くに気軽に行ける本のある場所が必要。
●	読み聞かせに対しては、昔も今も、子どもたちの反応は変わらない。
●	読み聞かせをしても、読書経験があるかないかで、反応はまったく違う。
●	3歳児くらいになれば、字を読める子もいるが、親子で共に楽しんで欲しい。
●	絵本は読んであげるべきでない、自分で読むべきと考えている親もいる。
●	絵本は、小さい子の見るものと思っている人もいる。
●	親が興味を持たなければ、また関心がなければ、子どもには伝わらない。
●	色々な刺激によって、本を読むようになるものだと思う。
●	大量定年時代は、裏を返すと強力なボランティア人材の宝庫なのではと思う。読み聞かせの学校ボランティアの場などに、どんどん進出して欲しい。（ボランティアを育てる場と時間が必要）
●	小学校前までは、何とか絵本にふれる事はあるが、その後も子どもたちが十分に「心を耕して欲しい」と思うので、学校図書館の充実を望む。
●	乳幼児期に親と楽しんだ絵本の世界を、小・中学校にどうつなげていくかが課題になると思う。
●	情報図書館デモ展示室が、1か月に1週間くらい定期的に使用可能であれば、紙しばいが、もっと親しみやすい様に「紙しばい部屋」として展示して親子が一緒にという時間が持てれば良いと思う。ボランティアとしても関わりたい。
●	絵本についての何でも相談日があれば良いと思う。
●	読書は夢のある世界であり、計画書に「副題」をつけるなど、分かりやすい（あまり硬いものにならない）計画書として欲しい。

4. 江別市子どもの読書活動推進計画策定に係る 「保育士・幼稚園教諭」との懇談会での意見等

- (1)実施期日 平成18年6月22日(木)
 (2)実施会場 江別市情報図書館デモ展示室
 (3)参加人数 保育園6園、幼稚園7園、計13園・13人
 (4)テーマ 「保育園や幼稚園における子どもの読書活動の推進」について

[懇談会での意見等から抜粋]

内	容
<ul style="list-style-type: none"> ● 園内の絵本だけでなく、情報図書館の絵本にふれることで、絵本に興味を持つようになる。 ● 情報図書館は、気軽に入っていける場所であって欲しい。 ● どうしたら、絵本の楽しさを伝えていけるのか。 ● 園では、情報図書館などでの「おはなし会」の案内のプリントを配るなど、お手伝いをしている。 ● 「わかば町文庫」は、親と一緒にないと利用できない。ほとんどが園バス利用者。お迎えは20%程度。 ● 園外の研修会を受講しているが、必要なことと思う。 ● 昔からの絵本は、やはり定番となっている。 ● 読み聞かせの「講演会」を園で開催しているが、やはり絵本に関心のある親が参加し、欠席者は絵本に興味を示さない親である。 ● 「園だより」でクラスで人気の絵本、新刊絵本を紹介している。家庭で親が興味をもってもらうことが大切。 ● 情報図書館からおすすめ本とか、情報を発信して欲しい。 	<p style="text-align: center;">7月から、毎月全保育園、幼稚園に情報図書館の「じどうしつだより」を送付することにしました。(6月23日決定) 同時に「おすすめえほん」リスト(2種類)についても、7月に同封します。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ● 親が興味を持たなければ、また関心がなければ、子どもには伝わらない。親への意識づけが大切。 ● 親向けに、絵本の楽しさなどを知らせる「講演会」の開催が必要。 ● 情報図書館では、廃刊となって手に入らなくなった昔の絵本を蔵書として持って欲しい。 ● 絵本を見て、おもしろかった、楽しかっただけで良い。それ以外、絵本の感想とか聞かない。 ● 読んでもらうことの楽しさを体験することが大事。 ● 子どもが親に絵本を読んであげるような家庭環境がふさわしい。 ● 幼児期から学童期につなげていけるような状況にすべき。 ● 小学校に入っても、読み聞かせが必要。 ● 小学校図書館の充実を望む。 	

**5 . 江別市子どもの読書活動推進計画策定に係る
「小・中学校図書館担当者」との懇談会での意見等**

- (1)実施期日 平成18年8月1日(火)
 (2)実施会場 江別市情報図書館デモ展示室
 (3)参加人数 小学校12校、中学校2校、計14校・14人
 (4)テ マ 「児童生徒の読書習慣の確立 / 読書指導の充実」について

[懇談会での意見等から抜粋]

内	容
●	学校図書館ボランティアによる読み聞かせ活動の推進
●	(読書タイム) 朝の読書活動の推進
●	読書環境の充実、整備
●	学校図書館のディスプレイの工夫
●	職員全体の研修
●	読書指導計画の作成
●	「読書記録カード」の作成
●	学校図書館ボランティアとの協働
●	読書機会の拡大
●	学級文庫の設置
●	読書月間の設定
●	通年における読書環境の設定
●	学校図書館の図書貸出、返却等電算システムの導入
●	教員も一緒に行う全校朝読書の普及
●	本との出会いの機会の設定
●	学校図書館にいつでも人がいて、いつでも借りられる状況
●	専任司書の配置

6 . 各懇談会の様子

「江別の図書館を考える会」との懇談会の様子



「ボランティア団体」との懇談会の様子



「保育士・幼稚園教諭」との懇談会の様子



「小・中学校図書館担当者」との懇談会の様子

